

ゴーセンカップ国際の足跡、これから

26回目の今年、大会は10月7日(日)より14日(日)まで、牧之原市の静波リゾート・スウィングビーチで開催されます。

全米オープン優勝の大阪なおみ選手で注目された東レパンパシフィック大会。大阪選手と決勝を戦い優勝したのはプリスコバ選手です。2011年ゴーセンカップ国際で優勝、2017年7月には世界ランキング1位に輝いています。今年の全米ではベスト8。最新世界ランキング7位です。こうした選手達がゴーセンカップ国際に参戦しています。

本大会に先がけ4日(木)・5日(金)、20才以下のWTA(世界)ランキングを持たない日本人選手による本戦推薦出場をかけたワイルドカード選手権を開催します。毎年ハイレベルな戦い、今年はインターハイ優勝の阿部宏美(愛知啓成高)選手や全日本ジュニアU18準優勝の小林ほの香(荏原SSC)選手らがエントリーしています。大会として将来を担う選手の発掘とステップアップに少しでもお手伝い出来ればと願っています。

\$25,000 大会にグレードアップした年、2002年には浅越しのぶ選手が優勝、その優勝ポイントで全豪本戦からの出場を決め、その後の復活・活躍へとつなげました。その後は吉田友佳選手、中村藍子選手が優勝を飾っています。

今年ウインブルドン優勝のKERBER(GER)選手は2004年出場、当時16才の可愛い女の子でした。2016年9月にはシングルス世界ランキング1位に輝いています。

2008年と09年に連覇を果たしたのはSU-WEI(TPE)選手です。2014年にはダブルス世界ランキング1位に輝き、先日の\$250,000女子ジャパンオープンでシングルス優勝を飾っています。日本に住んでいるかのような日本でよく見かける選手です。

2012年ベスト4のGARCIA(FRA)選手、今年の東レPPOでは第2シードでした。当時の大会ウェルカムパーティーが18才の誕生日、両親もフランスから駆けつけ、出席者全員でお祝いした事を覚えています。世界最新ランキング第4位です。2016年全仏ダブルスで優勝しています。

2013年ベスト4のBENCIC(SWI)選手は当時ジュニア世界ランキング1位。大会期間中から何かにつけ話題を提供してくれました。まだ幼さがあり敗退したものの、その直後からは勝ち続け、翌年の全豪で4大トーナメント初出場、2016年にはシングルス世界ランキングで16位まで躍進しています。

現在のシングルス世界ランキング100位以内(9月24日付)にはゴーセンカップ国際に過去出場した10人の選手達が名を連ねています。

| | | | |
|-----|------------------------|-------|--------|
| 3位 | KERBER ANGELIQUE(GER) | 2004年 | 2R |
| 4位 | GARCIA CAROLINE(FRA) | 2012年 | ベスト4 |
| 7位 | PRISKOVA CAROLINA(CZE) | 2011年 | 優勝 |
| 28位 | HSIEH SU-WEI(TPE) | 2008年 | 09年 優勝 |
| 34位 | WANG QIANG(CHN) | 2010年 | 2R |

| | | | |
|-------|-------------------------|-----------|------|
| 4 2 位 | BENCIC BELINDA (SWI) | 2 0 1 3 年 | ベスト4 |
| 7 7 位 | MARIA TATJANA (GER) | 2 0 1 4 年 | 優勝 |
| 9 2 位 | DIYAS ZARINA (KAZ) | 2 0 1 3 年 | 優勝 |
| 9 5 位 | PLISKOVA KRISTYNA (CZE) | 2 0 1 1 年 | 2 R |
| 9 9 位 | PENG SHUAI (CHN) | 2 0 0 3 年 | ベスト8 |

現在活躍している日本人選手達の中で注目されるのは、今年の全仏オープンダブルスで準優勝した穂積絵莉選手と二宮真琴選手。このペアは2013年にゴーセンカップ国際でダブルス優勝を飾っています。

現在のシングルス世界ランキングでみると

| | | | |
|---------|-------|----------------|------------------|
| 1 3 8 位 | 奈良くるみ | 2 0 0 9 年 | ベスト4 |
| 1 2 8 位 | 日比野菜緒 | 2 0 1 3 年 | ベスト4 |
| 1 5 9 位 | 土居 美咲 | 2 0 0 9 年 | 準優勝 |
| 1 7 7 位 | 清水 綾乃 | 2 0 1 7 年 (昨年) | 優勝 らが過去に出場しています。 |

他にも、藤原里華選手や森田あゆみ選手等、フェドカップ日本代表選手達が多く出場しています。

今年のアジア大会ダブルス銅メダルの加藤未唯選手（パートナーは二宮選手）は2012年に穂積選手と組んでダブルスでゴーセンカップ国際優勝、今回の東レPPOでは見事日本人ペアとしては初のダブルス優勝（パートナーは二宮選手）を飾っています。

大阪なおみ選手（現世界ランキング8位）は残念ながら本大会に出場した事はありませんが、出場を検討していたのでしょうか、ホテル予約に関するの問い合わせがあった事を記憶しています。

今年の大会にはエントリー締め切りの20日時点で201名の選手がエントリーしています。実際に出場出来るのは

| | | | |
|---------|---------|-----|----------|
| シングルス本戦 | エントリー上位 | 20名 | |
| | 予選勝ち上がり | 8名 | |
| | 主催者推薦 | 4名 | 計32名 |
| 予選 | エントリー上位 | 26名 | |
| | 主催者推薦 | 6名 | 計32名 です。 |

※ダブルスは本戦のみで16組が出場します。

主催者推薦として予選に県ジュニア委員会推薦で稲葉梨莉選手（アクトSC）、と中山友里選手（丹那TC）が出場予定です。2人は県ジュニアランキング15才以下No.1、2の選手。中山友里選手は中学3年生ですが、国体の静岡県少女の代表選手でもあります。

今年も多く多くの国々から選手が牧之原に集結します。先日\$15000 京都で優勝した全日本U18 ジュニア優勝の坂詰姫野（TEAM YUKA）選手もエントリーしています。ワイルドカード選手権も含め、若い選手の活躍、台頭に目が離せません。

皆さんなりの視点で、そして関わりで、ゴーセンカップ国際をお腹いっぱい楽しんでください。大会はもうすぐ始まります。会場でお待ち申し上げております。